

第1回学校運営協議会

先日ご案内差し上げましたとおり、資料を送付させていただき会議実施とさせていただきます。併せて同じ資料をメールにて送付いたしました。議決書のみ6月4日（木）までにメールにてご返信ください。なお、ご質問・ご意見がございましたら、議決書にご入力ください。
よろしくお願いいたします。

令和2年5月29日（金）15時30分から
身延高校 輝葉館

司会 身延高校教頭（丸山）

【次第】

- 1 開会
- 2 校長あいさつ
- 3 開催日について
第1回： 5月29日（金）15時30分
第2回：10月12日（月）15時30分
第3回： 2月 6日（土）13時30分（10時開始の総合学科発表会後に実施）
- 4 学校運営協議会の設置等に関する規則及び運営等に関する要綱について（別冊）
- 5 協議事項
 - （1） 役員選出について
 - ① 会長
 - ② 副会長
 - （2） 本校の現状について
 - ① 学校経営方針及び教育目標実現のための方策（p1～p4）
 - ② 教育課程の編成（p5・p6）
 - ③ その他
- 6 関係資料
 - ① 令和2年度入試概況（p7）＜カリキュラム部＞
 - ② 令和2年度活動計画及び令和元年度卒業生進路実績等（p8～p13）
＜キャリア教育部＞
 - ③ 令和2年度活動計画及び令和元年度いじめの状況について（p14～p16）
＜スクールライフ部＞
 - ④ 令和2年度PTA活動計画（p17）＜スクールサポート部＞
 - ⑤ 令和2年度連携事業について（p18～p22）＜連携部＞
 - ⑥ 令和2年度学校評価及び令和元年度学校評価（p23・p24）＜教頭＞
- 7 閉会

【学校運営協議会の目的・委員構成】

目 的：保護者及び地域住民等の学校運営への参画や、保護者及び地域住民等による学校運営への支援・協力を促進することにより、学校と保護者及び地域住民等との間の信頼関係を深め、学校運営の改善や生徒の健全育成に取り組む。

会 員：身延中学校校長	松山 京介 殿
P T A会長	望月 裕司 殿
同窓会相談役	萩原 敬 殿
前学校評議員	仙洞田一郎 殿
山梨大学教授	日永 龍彦 殿
身延町学校教育課課長	深沢 泉 殿
南部町学校教育課課長	渡辺 雄治 殿
早川町学校教育課課長	鈴木 宏記 殿
校長	佐野 隆弥
事務局：教頭	丸山 淳
主幹教諭	大木 賢一

令和2年度
学校経営方針及び教育目標実現のための方策

R2. 4. 1

山梨県立身延高等学校

I 本校の教育理念

綱 領

自学自習と創作を以て学習の態度とし、
質実剛健互助互譲を以て校訓とし、(校訓)
規律節制を以て運動の精神とすべし。

II 教育目標

- 1 自主的創造的な学習態度を育てる。
- 2 剛健の気風を養い、豊かな人間性を育てる。
- 3 規律節制を守る自律的生活態度を育てる。

III 経営方針

- 1 生徒一人一人の夢の実現のため、「学び」の学校づくりを推進する。
- 2 「文武両道」の実現を図り、活力ある学校づくりを推進する。
- 3 「魅力づくり」に努め、地域とともにあり、信頼される学校づくりを推進する。

IV 目指す学校像

生徒が	通いたい	} 学校
保護者・地域の人々が	通わせたい	
教職員が	働きたい	

V 目指す生徒像

- 1 知・徳・体の調和がとれた、心身ともに健康な生徒
- 2 高い志を持ち、自ら考え他と協働して課題を解決できる生徒
- 3 身延高生としての誇りを持ち、地域社会に貢献できる生徒

VI 本年度スクールスローガン

『チーム身延』 ～歴史と伝統を胸に共に未来を切り拓く～

VII 教育目標実現のための方策

《 特別留意点 》

中高一貫教育、コミュニティ・スクール、新学習指導要領、高大接続への対応として

- 1 総合学科カリキュラムの見直し、工夫、改善
- 2 「ドリームプロジェクト」に基づいたキャリア教育の推進
- 3 相互授業参観、ICT活用などを含めた授業力向上の取組推進
- 4 地域との連携・協働を基軸にした「魅力づくりプロジェクト」の推進

1 「自主的創造的な学習態度を育てる」ための方策

- (1) 確かな学力の育成 …授業内容・方法の不断の工夫・改善
 - ① 「主体的・対話的で深い学び」の研究・実践
 - ② 個に応じた指導の推進（習熟度別学習、少人数学習、補充・発展学習、個別指導の強化）
 - ③ AL(アクティブ・ラーニング)やICTを活用した授業実践のための教材開発
 - ④ 指導と評価の一体化（目標に準拠した指導と評価の工夫、観点別評価：4観点→3観点評価への対応、シラバスの活用）
- (2) 言語活動・読書活動の充実 …学びの基盤となる国語力・読解力の育成
 - ① 国語力、読解力、表現力等の育成のための言語活動の充実（全教科）
 - ② 朝の読書、図書館の有効活用等による読書活動の充実
 - ③ 自己表現力の育成（作文・小論文指導の充実、新聞記事等について発表機会の提供、キャリアガイダンス・授業等を通じた指導）
- (3) 学習習慣の確立 …家庭学習の習慣化
 - ① 学習活動と部活動とのバランス（家庭学習時間の確保）
 - ② 課題の工夫（各教科の連携、上質な課題内容と適度な分量、授業と家庭学習の連動）
 - ③ 学習支援クラウドサービス「Classi(クラッシー)」の活用、学習履歴としてのポートフォリオ、ChromeBook(クロームブック)活用によるICT活用授業の実践
- (4) キャリア教育の推進 …職業観の育成と一人一人の進路目標の実現
 - ① 「産業社会と人間」「総合的な学習・探究の時間」・「LHR」の充実
【夢の発見 ⇒ 育み ⇒ 実現】⇒連携型中高一貫教育の「中高6年間を通じたキャリア教育」の中に位置付く「ドリームプロジェクト」としての認識を共有
 - ② キャリアガイダンスの強化（「総合的な学習・探究の時間」・「LHR」、授業を通じたあり方・生き方指導）
 - ③ 進路目標の実現（面接指導、小論文指導、登校学習、課外指導等の充実）
・進路実績の向上（伸ばす指導のあり方、推薦・AO入試への対応等検証）

2 「剛健の気風を養い、豊かな人間性を育てる」ための方策

- (1) 体験活動等の充実
 - ① 部活動の活性化 …学校に元気・活力を！
「やまなし部活動ガイドライン」に沿って、メリハリのある活動（科学的トレーニング、体罰等の根絶、平日1日・休日1日以上以上の休養日設定、平日2時間程度・休日3時間程度の活動の徹底、参加大会等の精査）
 - ② 福祉・ボランティア活動の積極的な推進
 - ③ 環境整備活動の推進
- (2) 教育相談の充実（生徒の目線に立った日常の指導やカウンセリング）
 - ① 特別支援教育コーディネーターの専門性向上（研修の機会設定）

3 「規律節制を守る自律的生活態度を育てる」ための方策

- (1) 生徒指導体制の充実 …学校を支える基軸（全教職員の共通理解・共通指導）
 - ① 基本的生活習慣の確立（あいさつ運動、遅刻指導）
 - ② 社会に貢献できる人づくり（LHRや講演会等を活用した道徳教育の推進）
 - ③ 規範意識の醸成（「LHR」や授業を通じたあり方・生き方指導、いじめを許さない雰囲気づくり、高校生らしい服装・頭髪等の指導の徹底）…「生徒は歩く広告塔」

- (2) 特別支援教育の指導体制整備 (特別支援教育の視点に立った生徒理解・生徒指導、関係機関との積極的な連携体制＜チームとしての学校＞を構築)
- (3) 食育の推進 (健康の土台としての食育指導を推進)
- (4) 危機管理マニュアルに沿った日常の指導・実践 (各種避難訓練等の徹底、危険個所の早期発見と除去、救急法習得等)

VIII 「魅力づくり」に努め、地域とともにあり、信頼される学校づくり

- 1 学校評価に基づいた学校・年次・教科の目標設定と活動実践 (PDCA サイクル)
- 2 保護者との連携 (PTA 各委員会、授業公開、年次だよりの発行等)
- 3 中学校との連携 (相互授業アシスト等の連携型中高一貫教育の各種事業)
- 4 大学との連携 (高大連携・接続: 山梨県立大学、身延山大学、常葉大学)
- 5 地域との連携 (学校運営協議会の設置、外部人材の活用、ライフミュージアム展等)
- 6 広報活動 (学校HP、「身高 VIEW」「身延高校短信」の発行、マスコミへの情報提供等)
- 7 コミュニティ・スクールの設置

本校の教育理念

校訓 質実剛健 互助互譲

教育目標

- 1 自主的創造的な学習態度を育てる。
- 2 剛健の風を養い、豊かな人間性を育てる。
- 3 規律節制を守る自律的生活態度を育てる。

綱 領

自学自習と創作を以て学習の態度とし、
質実剛健互助互譲を以て校訓とし、
規律節制を以て運動の精神とすべし。

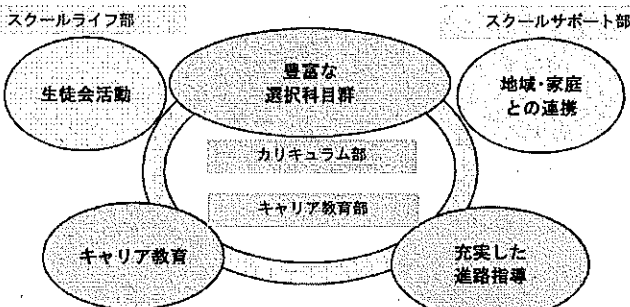
沿革 創立98周年（令和2年度）

大正11年 県立身延中学校として設立認可
大正12年 県立身延中学校として開校
昭和25年 県立身延高等学校と称す
(普通科・商業科・被服科・食物科・別科)
平成6年 普通科
平成9年 普通科・理数科
平成25年 総合学科に改編(普・理・給)
平成26年 身延・南部両中学との中高連携事業開始
山梨県立大学との高大連携事業開始
平成27年 身延高校の単独存続決定
令和元年 連携型中高一貫教育開始
令和2年 コミュニティ・スクール(CS)設置

進学型総合学科

「ドリームプロジェクト」の概要

生徒一人一人に対する手厚い教育の実現



- 1 1年次の履修科目「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」をとおして、夢の発見につなげます。
- 2 2年次からの多様な選択科目群や「総合的な学習の時間」をとおして、夢を育んでいきます。
- 3 手厚い進路指導により、夢の実現を支援します。

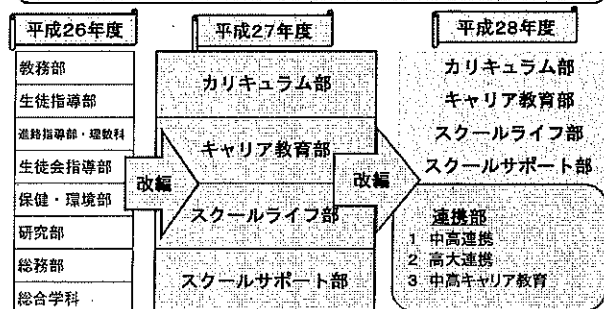
「ドリームプロジェクト」の推進

- ①進学型総合学科としての教育課程編成
- ②中高6年間を通じたキャリア教育の実施

「魅力づくりプロジェクト」の推進

- ①学校マネジメント
- ②魅力的なカリキュラム構成
- ③学力の向上
- ④学校行事の活性化
- ⑤部活動活性化
- ⑥身延高校PR活動
- ⑦PTA・同窓会との連携
- ⑧地域との連携・人材の活用
- ⑨中高一貫教育事業
- ⑩高大連携事業
- ⑪CS事業

「ドリームプロジェクト」「魅力づくりプロジェクト」推進のための＜校内組織＞



地域の将来を考える人材の育成（生徒づくり）

高大連携事業 … H26～R1、*R2年4月1日連携協定再締結、事業継続⇒R2～R5

山梨県立大学（国際政策学部）
○ 高大連携講座：映画の未来を考えよう

常葉大学（社会環境学部）
○ 環境防災教育講演会（6月）
○ 防災セミナー（8月）

中高一貫教育事業 … H26～身延・南部両中学校

身延山大学（仏教学部）
○ 家庭科連携授業

R1 連携型中高一貫教育開始

○教育理念：中高6年間の一貫したキャリア教育を通して、次世代を担う人材を育成

○教育目標：①学力の向上、②豊かな人間性の育成、③地域との協働 ⇒ 12事業を展開

CS事業 … R1設置準備

R2 CS設置

○設置目的：学校と地域が連携・協働し、当事者意識をもって子供たちの成長を支えていく学校づくりの推進

○設置準備：設置準備委員会を設置し、学校運営協議会構成、関連規則の制定等を実施

本館

令和2年4月1日

年次・組		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	備考									
1年	クラス共通	国際総合			現代社会			数学Ⅰ			数学A			科学・人間生活			保健			体育			音楽Ⅰ			コミュニケーション英語Ⅰ			英語表現Ⅰ			家庭基礎			社会と情報			産社			総探	LHR
		10A1011	10A2111	10A3011	10A3011	10A3041	10A4011	10A5011	10A5011	音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	10A7021	10A7051	10A8011	10A9011	10A9013																											

[illegible]

3 年	301 選択	302 選択	303 選択	304 選択	305 選択	306 選択	307 選択	308 選択	309 選択	310 選択	311 選択	312 選択	総学	LHR
理数科学	体育 3RJ5011	S コミュニケーション/英語 III 3RJ7041	世界史 B 3RI2021	物理 30R4031	S 現代文 B 3RI1041	S 古典 B 3RI1061	化学 30R4051	S 数学 III 30R3031 数 学 III 30R3031 数学特論 30R3073	英語実践 30J7123	数学探究 A 30J3103	数学探究 B 30J3113	物理探究 30R4113 化学探究 3R74123 生物探究 3RJ4133	総学	LHR
人文社会	体育 3RJ5011	S コミュニケーション/英語 III 3RJ7041	世界史 B 3RI2021	物理 30R4031	S 現代文 B 3RI1041	S 古典 B 3RI1061	化学 30R4051	S 数学 III 30R3031 数 学 III 30R3031 数学特論 30R3073	英語実践 30J7123	数学探究 A 30J3103	数学探究 B 30J3113	物理探究 30R4113 化学探究 3R74123 生物探究 3RJ4133	総学	LHR
福祉健康	総合数学 II 30F3093	現代文 B 30F1041	世界史 B 3JB2021	基礎有機化学 30F4143	子ども文化 30F8072	健康生物 30F4143	現代文 A 30F1031	スポーツ研究 30F5043	文系数学 II 30F3153	コミュニケーション/英語 III 30F7041	現代社会研究 30F2143	現代社会研究 30F2143	総学	LHR
文化情報	総合数学 II 30B3093	現代文 B 30B1041	日本史 B 3JB2041	現代文 A 30B1031	書 30B6133 絵画 30B6112 実用情報 B 30B9053	身体経済研究 30B2153 伝統工芸 B 30B6153 情報表現と芸術 30B9032	文系数学 II 30B3153	政治経済 30B2131	総合理科 30B4153	異文化理解 30B7092	英語活用 30B7113	英語活用 30B7113	総学	LHR
福祉健康	総合数学 II 30F3093	現代文 B 30F1041	世界史 B 3JB2021	基礎有機化学 30F4143	子ども文化 30F8072	健康生物 30F4143	現代文 A 30F1031	スポーツ研究 30F5043	文系数学 II 30F3153	コミュニケーション/英語 III 30F7041	現代社会研究 30F2143	現代社会研究 30F2143	総学	LHR
文化情報	総合数学 II 30B3093	現代文 B 30B1041	日本史 B 3JB2041	現代文 A 30B1031	書 30B6133 絵画 30B6112 実用情報 B 30B9053	身体経済研究 30B2153 伝統工芸 B 30B6153 情報表現と芸術 30B9032	文系数学 II 30B3153	政治経済 30B2131	総合理科 30B4153	異文化理解 30B7092	英語活用 30B7113	英語活用 30B7113	総学	LHR
福祉健康	総合数学 II 30F3093	現代文 B 30F1041	世界史 B 3JB2021	基礎有機化学 30F4143	子ども文化 30F8072	健康生物 30F4143	現代文 A 30F1031	スポーツ研究 30F5043	文系数学 II 30F3153	コミュニケーション/英語 III 30F7041	現代社会研究 30F2143	現代社会研究 30F2143	総学	LHR
文化情報	総合数学 II 30B3093	現代文 B 30B1041	日本史 B 3JB2041	現代文 A 30B1031	書 30B6133 絵画 30B6112 実用情報 B 30B9053	身体経済研究 30B2153 伝統工芸 B 30B6153 情報表現と芸術 30B9032	文系数学 II 30B3153	政治経済 30B2131	総合理科 30B4153	異文化理解 30B7092	英語活用 30B7113	英語活用 30B7113	総学	LHR
福祉健康	総合数学 II 30F3093	現代文 B 30F1041	世界史 B 3JB2021	基礎有機化学 30F4143	子ども文化 30F8072	健康生物 30F4143	現代文 A 30F1031	スポーツ研究 30F5043	文系数学 II 30F3153	コミュニケーション/英語 III 30F7041	現代社会研究 30F2143	現代社会研究 30F2143	総学	LHR
文化情報	総合数学 II 30B3093	現代文 B 30B1041	日本史 B 3JB2041	現代文 A 30B1031	書 30B6133 絵画 30B6112 実用情報 B 30B9053	身体経済研究 30B2153 伝統工芸 B 30B6153 情報表現と芸術 30B9032	文系数学 II 30B3153	政治経済 30B2131	総合理科 30B4153	異文化理解 30B7092	英語活用 30B7113	英語活用 30B7113	総学	LHR

◆総学 LHR は
クラス毎
◆選択授業は3
クラス同時展開
◆福祉と文化
の現代文 A と総
合数学 II は2
パート

医療
福祉
食物
栄養
保育
体育
芸術
就職
社会
情報

理数科学
人文社会
福祉健康
文化情報

授業番号について

同じ名称でも異なる科目群に存在する授業は多数ある。
そのため履修登録や教科書購入などは混乱をきたす可能性がある。
そこで各授業に「授業番号」を割り当てることにより、整理したいと考える。

$\frac{1}{\text{①}} \quad \frac{0R}{\text{②}} \quad \frac{1}{\text{③}} \quad \frac{0}{\text{④}} \quad \frac{1}{\text{⑤}} \quad \frac{1}{\text{⑥}}$
(7桁)

① 実施年次 1 1年次
 2 2年次
 3 3年次

② 科目群 0R 理数科学 } RJ }
 0J 人文社会 } }
 0F 福祉健康 } FB }
 0B 文化情報 } } 0A

末尾が「2」の科目が
“専門教科科目”であり、
この科目が計25単位以
上必要である。

③ 教科名 1 国語
 2 地歴公民
 3 数学
 4 理科
 5 保健体育
 6 芸術
 7 英語
 8 家庭
 9 情報
 0 その他(産社、総合、LHRなど)

④ 科目名 教科内におけるその科目の順番

⑤ 授業種目 1 普通教科科目 ※ 「S科目(スーパー、難関大学志望者用の授業)」
 2 専門教科科目 の授業種目は「1 普通教科科目」である。
 3 学校設定科目

【学習指導要領 第1章総則 第2款教育課程の編成 (2)各教科・科目の履修等】より抜粋

総合学科における各教科・科目の履修等については、次のとおりとする。

(ア) 総合学科においては、「産業社会と人間」を全ての生徒に原則として入学年次に履修させるものとし、標準単位数は2～4単位とする。

(イ) 総合学科においては、学年による教育課程の区分を設けない課程(以下「単位制による課程」という。)とすることを原則とするとともに、「産業社会と人間」及び専門教科・科目を合わせて25単位以上設け、生徒が多様な各教科・科目から主体的に選択履修できるようにすること。その際、生徒が選択履修するに当たっての指針となるよう、体系性や専門性等において相互に関連する各教科・科目によって構成される科目群を複数設けるとともに、必要に応じ、それら以外の各教科・科目を設け、生徒が自由に選択履修できるようにすること。